

北海道公立大学法人札幌医科大学 第4期中期目標（素案）の概要

1 策定の趣旨

札幌医科大学の第3期目標期間（令和元年～令和6年度）が今年度をもって終了することから、地方独立行政法人法に基づき、設立団体である道が、令和7年度から令和12年度までの6年間の第4期中期目標を策定するもの。

2 第4期中期目標策定の考え方

中期目標は、業務運営に当たっての理念や方向性を示すものであり、策定にあたっては、道（設置者）の意向を法人運営に反映させつつ法人の自立的運営に配慮する観点から、

- ・道の政策を踏まえた方向性を示し、具体的な取組内容は法人の自主的検討を促すことを基本とし、特に、達成水準の可視化が必要な項目について数値指標を明記。
- ・素案の内容検討にあたっては、新たな取組として、現場実態等を踏まえるため、地域医療関係者や札幌医科大学の各部門長（医学部長など）からヒアリングを実施。
- ・道が示した中期目標を踏まえ、札幌医科大学は、具体的な取組を検討し、中期計画を策定する。

3 道として札幌医科大学に期待する主な項目

- ① 地域医療体制の確保
- ② 災害医療への対応
- ③ 感染症危機への対応
- ④ 医療人の育成
- ⑤ 地域貢献・海外交流
- ⑥ 財務基盤の強化
- ⑦ コンプライアンス強化

4 中期目標素案の主な内容（下線は新規・拡充）

大学の教育研究等の質の向上に関する目標

教育

- 入学者の受入れ（④）
 - ・入学者選抜について適宜見直しを実施、医療関係者等から意見集約を図る
- 教育内容及び成果等（④：医師国家試験合格率の数値指標を新たに設定）
- 教育の実施体制等
- 学生への支援等

研究

- 研究水準及び研究の成果
- 研究実施体制等

附属病院に関する目標

- 診療
- 臨床教育
- 運営の改善及び効率化
- 新たな感染症対策（③）
 - ・感染症発生に備えた専門人材の育成、発生時の体制を整備

社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ○地域医療等への貢献（①：公的医療機関の派遣要請への応諾率、専攻医確保数の数値指標を新たに設定） <ul style="list-style-type: none"> ・地域要望も適切に踏まえ、地域の公的医療機関への派遣機能を強化 ・働き方改革に対応し、地域医療機関への医師派遣に資する専攻医を確保 ○診療支援等の充実 ○災害医療への対応（②） <ul style="list-style-type: none"> ・災害医療に精通した医療従事者の育成など、災害医療体制の充実強化 ・災害時に災害医療への中心的役割を果たす ○地域の保健福祉の向上（⑤） ○教育研究活動の情報発信等
産学・地域連携	
国際交流及び国際貢献（⑤）	
業務運営の改善及び効率化に関する目標	
運営	
組織及び業務等	
財務内容の改善に関する目標	
財務基盤の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○収入の確保 ○経費の効率的執行（⑥：数値指標） <ul style="list-style-type: none"> ・管理的経費等の効率的執行、医薬材料費引下げなどによる診療経費縮減
資産の運用管理	
自己点検・評価及び情報の提供に関する目標	
評価の充実	
情報公開等の推進	
その他業務運営に関する重要目標	
施設設備	
安全管理等の業務運営	
法令遵守等（⑦）	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな取組を実施するなど、法令及び倫理規範の遵守をより一層徹底 ・コンプライアンス強化の取組、全てのハラスメント防止に向けた取組推進

5 数値指標

項目	設定内容	目標値(期間平均)	
大学の教育研究等の質の向上に関する目標	教育	新卒者の医師国家試験合格率	96%以上
	地域医療等への貢献	公的医療機関の派遣要請への応諾率	98%以上
		専攻医確保数	90人以上
財務内容の改善に関する目標	財務内容の改善に係る数値指標については、別途検討		

6 今後のスケジュール

- 令和6年 8月：パブリックコメント（8月～9月、1ヶ月）
10月：北海道地方独立行政法人評価委員会への意見聴取
11月：中期目標案の提案（令和6年第4回定例北海道議会）
12月：議決後、札幌医科大学へ指示、公表